

開会挨拶

○司会 三井 栄（岐阜大学地域科学部） おはようございます。只今より、第36回岐阜シンポジウムライチョウ会議ぎふ大会ライチョウフォーラムを開催いたします。

本フォーラムは、昨日に引き続き、ライチョウ会議、岐阜県、岐阜大学が共同して実施いたします。

岐阜大学においては、本日のフォーラムを、環境、バイオ、情報、教育などの21世紀の重要なテーマを世界に発信することを目的とする、岐阜シンポジウム及び環境ユニバーシティフォーラムとして位置付けております。

本日は、たくさんの方々にご来場賜り、厚く御礼を申し上げます。私は、本日総合司会を務めます岐阜大学地域科学部三井栄と申します、よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたり、公益社団法人岐阜県獣医師会柴田真治様より、ご挨拶を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。



柴田真治 岐阜県獣医師会理事からのあいさつ

○柴田真治（公益社団法人岐阜県獣医師会）

おはようございます。昨日は雨に降られましたが、本日は晴天になりました。秋の良い日だなと思います。今日はライチョウフォーラムということになりますけれども、ライチョウ会議2日間、コロナ禍の中で果たして開催できるかどうか、かなり心配しておりました。大会委員長の楠田先生を中心として、岐阜大学、それから岐阜県、日本野鳥の会の岐阜支部、

中部大学の創発学術院，日本野生動物獣医師協会岐阜支部の方々，また関係する方々の努力によって無事，迎えられたなと思いますし，また，本日のスタッフも岐阜大学の関係の方を中心に実施していただいたということで，こうしてこのライチョウ会議を迎えることができました。本当に感謝を申し上げたいと思います。

私の所属している岐阜県獣医師会は，人と動物との共生，より良い社会づくりということの中で，生物多様性の観点から環境保全，それから野生動物の保護，マネジメントそういったものの事業を取り組んでおります。

その一環として，数年前からライチョウの保全，保護について考えていかなければいけないと話が出ておりましたけれども，如何せん，岐阜県内の獣医師の中でもライチョウというのは知っているが，今，ライチョウがどういう状況になっているのかというのは，ほとんど分かっていない方が多い。昨日の楠田先生のお話にもありましたけれど，獣医師会会報の中にライチョウの特集を組みまして，原稿を楠田先生にお願いしましたところ，楠田先生のタイトルが「岐阜県民はライチョウが嫌いなのか」と，そういうタイトルだったのです。私はその会報のタイトルを見て，そんな載せていいのかと最初は思ったのですけれど，そのタイトルで載せました。そうしたら獣医師会の事務局の方にも，ライチョウの置かれている現状がどのようになっているのかよく分かった，知らなかった恥ずかしいなど反響がありました。

昨日の話のタイトルは実行委員会の中で「嫌いなのか」はちょっとまずいので，「知ろうよ」というのに変えたらどうかという話で，昨日はタイトルが変わっておりましたけれど，実は「岐阜県民はライチョウが嫌いなのか」というタイトルでした。

そうしたことで獣医師会の方では，なんとかこのライチョウの現況を受け止め保護と保全といったものを環境を含めて考えていかなければいけないということで，このフォーラム自体を我々の研修会を兼ねてということもあります。

今回，なんとか岐阜市の方で開催したいということで，楠田先生を中心に開催をこぎ着けたわけですが，このライチョウ会議1日目はシンポジウムということで，一般の方が分かっていたような話，2日目はライチョウフォーラムということで，その生息地域での取り組み，それと動物園等の域外保全の取り組み，それから，野生復帰のための取り組み，ライチョウ保全に関する掘り下げた話，研究，そういった話が出てくると思います。

昨日も話がありましたけれど，日本のライチョウというのは日本の文化と共に生存しているということがあります。その中で，そのライチョウの保護，保全の方法を考えると，その地域の環境保全等を考えていかなければいけないし，生態系の崩れた状況を修復しなければいけないと，色々なことが関わってくるということになると思います。

これが，ライチョウのことだけではなく，希少種全般に関わることだという風に思いますし，これが日本全体的，それから世界の環境保全ということにも考え方が繋がってくるのではないかという風に考えています。

このライチョウ会議の2日間，特に今日の掘り下げたような話について，今後，ライチョウの保全，保護についての皆さんの考え方，1人でも多くの方に知っていただいて，その方々がやれることを何かやっていただく，ということなのかと思います。

また，国，岐阜県，それからその関係団体の方，動物園も含めて大学等研究機関，色々な方々が協力して，支援もし，ライチョウの保護，保全を進めていければと思います。

この2日間が、そういった考え方が広まっていくためのより良い2日間になればと思います。

そうしたことを祈念して、開会の挨拶とさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。